

# 平成30年度 地方創生推進交付金活用事業

## 地方創生交付金の評価基準（4段階）

- |                   |   |
|-------------------|---|
| ① 地方創生に非常に効果的であった | 例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合             |
| ② 地方創生に相当程度効果があった | 例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合           |
| ③ 地方創生に効果があった     | 例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、事業開始前よりも取組が前進・改善したとみなせる場合    |
| ④ 地方創生に対して効果がなかった | 例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合 |



# ビワイチ推進プロジェクト (3/5年目)

地方創生推進交付金 歳入予算:4,001千円(事業費8,002千円)

ジャパンエコトラックルートの継続普及やサイクリングイベントの継続開催などにより認知度の向上を図ることで県内唯一の新幹線停車駅・米原駅をビワイチの起点として定着させる。また、サイクリストの期待と満足度を高めるため、市内の宿泊拠点や休憩拠点を整備するとともに周遊先コンテンツを磨き上げることで市内滞在時間の延長と市内周遊の円滑化を促進し、本市への新しい人の流れを拡充することで地域経済の活性化を図る。

KPI(滋賀県全体)	(事業開始前)	28年度 (増加分)	29年度 (増加分)	30年度 (増加分)
ビワイチ推進による日帰り客・ 宿泊客の増	目標(人)	52,000	19,600	19,600
	実績(人)	-	20,000	20,000
ビワイチによる日帰り・宿泊客 の増加による経済波及効果	目標(千円)	614,000	262,000	262,000
	実績(千円)	-	267,200	267,200



## これまでの実施内容

- ・新幹線駅直結のサイクルステーションの設置
- ・ジャパンエコトラック登録
- ・市民団体との連携によるサイクリングコース設定
- ・宿泊拠点（グリーンパーク山東コテージ）
- ・休憩拠点の整備（伊吹山インフォメーションセンター）
- ・伊吹山ライブカメラの設置



## 平成30年度の取組

### ◇びわ湖の素・米原グルメライドの開催

10/13 参加者292人  
米原市内全域に設置された5つのエイドステーションと6つのチェックポイントを好きなルートで巡るサイクリングイベントを開催  
市民へのサイクリング普及意識向上にも効果があった。

### ◇サイクリングツアーの支援

市内周遊の促進を図るため、五環生活によるサイクリングツアー催行（7回）を補助



### ◇ジャパンエコトラックルートの深化

- ・モンベルフレンドエリア継続登録
- ・ジャパンエコトラックルートマップ 英語版印刷5,000部
- ・ジャパンエコトラックルート追加 2ルート追加（合計7ルート）



### ◇観音寺・「KANNONJI851」の開催

7/21～10/21 来場者数1,535人  
石田三成に「逢える」ブックカフェとして関連書籍を集めたイベントを開催



### ◇米原駅レンタサイクルステーション

- ・レンタサイクル貸出数2,648台

## THE近江・魅力満載プロジェクト (3年目/3年)

琵琶湖をはじめ、滋賀ゆかりの素材について、県、市町や民間等と連携して魅力を磨き上げ、国内外に発信するとともに、多様な主体が参加、連携し、観光をキーにまちづくりに取り組み、観光振興のレベルアップと地域の活性化を図る。市では、主にシティセールス事業として事業を実施

地方創生推進交付金 歳入予算:2,960千円(事業費5,920千円)

KPI(滋賀県全体)		(事業開始前)	28年度 (増加分)	29年度 (増加分)	30年度 (増加分)
延べ宿泊者数	目標(万人)	333.0	37.0	15.0	15.00
	実績(万人)		45.0	7.0	
延べ観光入込客数	目標(万人)	4633	167	100	35
	実績(万人)		444		
観光消費額	目標(億円)	1583	57	30	30
	実績(億円)		152		

## 平成30年度の実績

## ◇シティセールス事業(通年事業)

- 里おこしイベント『伊吹の天窓』  
・「人と人」「人と地域」「地域と地域」が有機的に交流を図ることを目的に、里おこしイベント『伊吹の天窓』を開催(参加者約1200人)
- 首都圏でのシティプロモーションの実施  
・「和のあかり×百段階段」(ホテル東京雅叙園) 来場者数85,791人
- シティセールス専用サイト『びわ湖の素・米原』  
・本市に住みたくなる、住み続けたいサイト運営



## ◇シティセールス事業(新規事業)

- 首都圏でのシティプロモーションの実施  
・カートラJAPAN2018(幕張メッセ) 来場者数40,767人  
・ここ滋賀(まるごと滋賀コレクション) 来場者数5,500人  
・早川鉄兵トーク&切り絵ワークショップ(インバウンドリーグ新宿) 30人
- 「ヤマトタケル物語」の舞台を巡る「furete米原 魅力満載ツアー」  
・首都圏から米原市内へのツアーを開催(参加者13人)
- シティセール情報誌の作成  
・シティセールス用の米原紹介パンフレット「まいばら水綺譚」を10,000部作成



# 「スポーツレガシー」を生かしたインバウンド獲得プロジェクト (1年目/3年)

地方創生推進交付金 歳入予算:709千円(事業費1,419千円)

ホストタウンの登録やワールドマスターズゲームズ2021関西のホッケー会場となったことを契機として、外国人旅行客の受入拡大を推進するため、外国人向けツアーや市内伝統工芸の体験メニュー化を図り、インバウンド需要の獲得による地域経済活性化を図る。

◆関連事業 ホストタウン事業  
(相手国:ニュージーランド)

## 平成30年度の取組

### ◇インバウンド向けツアー会社設立支援

(官民連携パートナーシップ事業)

外国人観光客向けツアー会社の設立や観光コンテンツの発掘および観光ガイドの育成を支援。H31.4開業予定

### ◇木彫の里上丹生での 体験メニュー構築

(まいばら協働事業提案制度)  
木彫りの里上丹生の若手により、上丹生の木彫りなどの体験メニューの構築。インバウンド向けツアー会社との連携により体験メニューを実施 (H30~32)

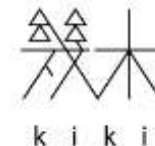
### ◇伝統工芸を活かした木彫アクセサリー

(まいばら協働事業提案制度)

木彫りの里上丹生の技術を生かし、ピアスなどのアクセサリーの製造販売事業を支援する。ふるさと納税およびオリテ米原でも取扱中



外国人モニターを招き  
課題を抽出



KPI		29年度 (事業開始前)	30年度 (増加分)	31年度 (増加分)	32年度 (増加分)
米原駅近隣施設での 外国人宿泊客数	目標(人)	2,600	100	300	1000
	実績(人)		885		
外国人向けの特産品、 体験プログラム・ツアー の造成数	目標(個)	2	2	3	5
	実績(個)		2		
外国人向け体験ツ アー・プログラムの 参加者数	目標(人)	0	40	60	100
	実績(人)		4		

連携

連携



# 「戦国・琵琶湖」体感・体験ツーリズム深化プロジェクト

## (新規申請中 2019年度～2021年度)

地方創生推進交付金 2019年度歳入予算:2,844千円(事業費5,689千円)

大河ドラマ「麒麟がくる」放映の機会を生かし、県内全体で戦国をテーマとしたプロモーションを行うとともに、体験・体感型旅行メニューを構築し、宿泊・滞在型観光を充実させることによる国内旅行客および外国人旅行客の受入拡大を図り、交流人口拡大による地域経済活性化を目指します。

KPI(滋賀県全体)		(事業開始前)	28年度 (増加分)	29年度 (増加分)	30年度 (増加分)
戦国にまつわる観光施設の観光入込客数	目標(万人)	171	2	2	1
観光消費額	目標(億円)	1,793	77	40	45
延べ観光入込客数	目標(万人)	387	23	10	15

### 2019年度の取組

#### ■戦国をテーマとしたプロモーション

- 「日本蕎麦栽培発祥の地」と戦国武将を活用したそばメニュー開発とプロモーション 124千円



- 戦国ゆかりの地国内外情報発信 600千円

- ・シティセールスサイト特設ページ
- ・戦国ゆかりの地観光案内パンフ作成

- 戦国ロケット流星打ち上げ 1,065千円



(戦国ロケット流星)

#### ■宿泊・滞在型観光の充実・深化

- 米原駅東口まちづくり事業を契機とした誘客の推進 3,900千円
- ・米原曳山祭の開催および稽古見学ツアー実施



### 2020・2021年度の取組

#### ■戦国をテーマとしたプロモーション

#### ■宿泊・滞在型観光の充実・深化

#### ■米原駅東口まちびらきを見据えた事業展開

- ・米原駅東口まちびらきにたいイベントの開催および情報発信:委託料 9,000千円
- ・米原駅での多言語対応デジタルサイネージ



石田 三成



大谷 吉継



京極 高次



大原観音寺



清瀧寺徳源院